

学校名の由来

藤井寺市には校名に「道明寺」の付く小学校が3校あります。元は、**道明寺小学校**の1校だけでした。藤井寺市内で最も早くできた小学校で、明治6年の創立です。当初は別の校名でしたが、明治の中頃～昭和に、学校のある村が合併によって「**道明寺村**」「**道明寺町**」となっていったので、「道明寺小学校」に変わりました。

校名の基となった村や町の名前に「道明寺」が付いているのは、この地域の中に有名な道明寺があったからです。道明寺は古代には「**土師寺**(はじでら)」といい、長い歴史のある尼寺です。この地域を本拠地としていた古代豪族・土師氏の氏寺(うじでら)であったとされています。

この土師氏の出身で平安時代の有力貴族であり学者でもあった**菅原道真**(みちざね)の伯母・覚寿尼(かくじゆに)がこの寺にいました。道真が藤原氏の陰謀のために都を追われ、九州・太宰府に流される時、伯母に別れを告げるためにこの寺に寄ったと伝えられています。道真が太宰府で亡くなった後に「道明寺」の名に改められました。「道明」というのは道真の号(別の呼び名)だったのです。

明治時代になって、道明寺は学問の神様として道真をまつた神社・**道明寺天満宮**と分けられましたが、「道明寺」の名はこの地域の人々にとっては、昔から大変つながりの深いものであり、村や町、学校の名前として長く使われ続けてきました。

道明寺小学校の児童数が増加したため2校に分離することになり、1967(昭和42)年4月に道明寺東小学校が開校したのです。さらに、この2校の児童数も増加を続けたため、両方の校区の一部ずつを合わせて分離し、3校目の**道明寺南小学校**が1973(昭和48)年4月に開校しました。この3校は、昔の道明寺村・道明寺町の地域に生まれた兄弟学校というわけです。